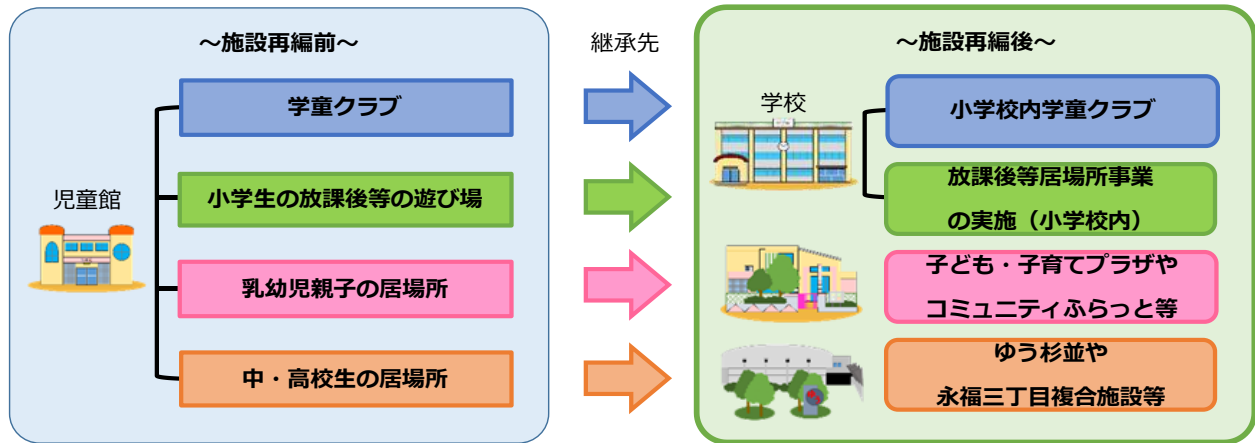


「子どもの居場所づくり」の取組について

1 平成 26 年度以降進めてきた「児童館再編による子どもの居場所づくり」の取組について

- 児童館は、0～18 歳未満の子どもたちが気軽に遊べる居場所として、昭和 40 年代から 50 年代にその多くが建設されて、施設の老朽化が深刻化しています。
- 近年、社会状況等の変化により、学童クラブを含む小学生の放課後等の居場所や乳幼児親子の居場所に対するニーズが高まっています。
- こうしたニーズの増加・多様化に伴い、児童館という限られた施設だけでは対応に限界が生じていることから、児童館が担ってきた機能・役割を継承・発展することができるよう、区立施設再編整備計画に基づき、以下の 4 つの方向性を軸に「児童館再編の取組」＝「新しい子どもの居場所づくり」を進めてきました。

【児童館再編のイメージ】



2 児童館再編の検証と今後のより良い子どもの居場所づくりについて

- 区立施設再編整備計画において計画化していた児童館再編に関する取組については、区民意見等を踏まえてこれまでの取組を検証した上で、新たな方針を決定するまでの間、原則として休止することとしています。
- その中で、児童館再編の取組についても一旦立ち止まり、検証を行った後、その検証結果を踏まえて、あらためて今後のより良い子どもの居場所のあり方について検討していくことになりました。

3 今後のスケジュール (予定)

- 令和 5 年 9 月 児童館再編の検証のまとめ、より良い子どもの居場所のあり方の検討に着手
 ～令和 6 年度 より良い子どもの居場所のあり方のまとめ